

刊夕日八廿月一十

常 新 日 報 警 常

定価 一月五拾銭 郵費五銭
 廣告料 五拾二字一行情五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常新日報警常社
 印刷所 常新日報警常社

七五三の話 (二)

中山 太郎

現今では七五三の祝ひをその児がこれまで無事に成長し、又これからは無事に成長するやうにとお禮心から、氏神社なり産土社なりへ参拜するのであると云ふてゐるが、これは後世から附會した合理的の説明であつて信用するにたならぬ。

成國の成人式は一段階ごとに、神の名において行はれるのが古俗である加冠(烏帽子着とも云ふ)又は元服が必ず神前で擧げられたものもこれがためである七五三の髪置、袴着、帯解も古くは神前で行はれたものといふべきである。

そして成人式の最初の段階としての七五三の意義を考へると、神と人との分離を神に告げるものと解釋すべきである。即ち神と人の分れ式なのである。我國では遠い昔から男女とも七歳までは神であつて、人ではないといふ思想が存してゐた、それが七歳に達すると神から離れて人と家庭なり更に家庭人から社會人になるには、概ね男児十五歳女児十三歳で、第二段階の成人式を擧げたのである。

れ目に行ふたのが第一段階の成人式であり、七五三の原相である。従つてこれを境として幼児の禁忌が解消される習俗さへある。

岩手縣膽澤郡の村々では今に男女七歳になると氏神社へ参詣し、それより鳥肉食ふことを許される。

京郷の賀茂神社の氏人が昔は元服すると、五反田入りと稱する成人式において必ず蟹料理を用ひたとも、年齢の差こそあれその思想は全く同じものである。

尙言へば、袴着が済めば

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁—ねぎ 小付
 お多福豆
 【晝】干物—らつきよう
 焼豆腐 大根 半べん 茶めし

【晚】煮込おでん—里芋
 袴を着けることを帯解を終れば帯を用ひることを社會から許されるので、これも服飾上の禁忌の解消に外ならぬのである。



七つのお祝ひ
 七つのお祝ひ
 うれしいな

ふり袖 おべべに
 赤い おび
 ちろ ちろ お鈴の
 下駄 はいて
 もみちのお宮へ
 おまゐりに
 七つのお祝ひ
 うれしいな
 もみちのお宮の
 鈴 ふれば
 仲よし お鳩も
 来て あそぶ
 あち こち 輪になり
 うれしいな
 七つのお祝ひ
 うれしいな
 お袖のやうも
 花 もみち
 ばあやのお里は
 山もみち
 お宮のもみちも
 いまさかり

店主が店員	を連れて行	か	正	正	正	平・田町
れ	る	れ	シ	シ	シ	レストサロン
て	る	て	イ	イ	イ	電三五二番
行	る	行	酒	喫	食	
	る		場	茶	堂	

看護婦急派
 求めに應じます
 平町南町
 平看護婦會
 電話三〇七

花環 神佛葬具
 久壽玉
 御弔燈
 寶明燈
 靈柩自動車

造花

平川新橋
 本屋
 電話一六三

かまぼこ 製造
 杉本 製造
 平町一丁目
 お惣菜用
 さつま揚
 吉原揚

不味實

電話一四一番

株式賣買
 會社資三共商事
 大町 電話三六〇番

千ヤナギ
 いか切込
 賣り始めました
 鯉節 鯉鹽辛
 平土橋
 丸仙鮮魚店
 電六六二番

外科 専門線 X
 上田外科病院
 平町南町
 電話一二九番

御婚禮、忘年会、新年會は
 特に御相談に應じます
 割烹 住吉屋本店
 電話一五九番

松印 珍味江ノ島鍋共五品
 竹印 珍味江ノ島鍋共五品
 梅印 珍味江ノ島鍋共五品
 御一人前 金壹圓貳拾錢
 御一人前 金壹圓

毎日献立差替へ調理致します
 豫て御好評のヒナ鳥
 ◎水 た き
 ◎鯛 茶

親王殿下の御誕生を喜び

祝砲三發鳴る

けふ平町は急施町會

本日午前七時五十七分親王殿下御誕生あらせられたる喜びを一般に頒つ爲め平町にては午前十時奉祝の花火三發を打揚げたので各戸は擧つて國旗を掲揚したが更に賀表奉呈を附議する急施町會を午後二時から同町會議室に開き全員起立裡に賀表を可決した

各學校の 平町各 宮城遙拜 小學校 親王殿下御誕生を祝するた め朝禮の際國旗を掲揚して 宮城遙拜御健さを祈念した 並に各中等學校は目出度さ

モンク三分で 百圓飛ぶ!

折角の國際電話

利用者が甚だ少い

既報平郵便局の國際電話は 現在近くは臺灣滿洲から遠くはヒリッピン、ジャバ更に長驅して北米並に歐洲各國とも居ながらにしてモシの交換が出来るがこ のモンク料金は近い臺灣で一通話(三分間)六圓、北

炎禍の源を

徹底的にと陳情

内郷白水川の改修工事

山間方を襲つた過般の豪雨で土砂流失、堤防欠潰等四千餘圓の損害を受けた内郷村白水川は復舊河川を徹底的にやることになり

際にも六十七名の死者を出して居り附近住民は降雨毎に恠々として居たこの際根本的な水害防止策を施されたいと沼田村長から縣へ陳情する由

警越線の線路を

太いのと取替る

列車の動搖が激しいため

平町より郡山市に通ずる警越東線の軌道調査が近く開始されることになったがこれは仙臺鐵道局がスピードアップ開始以來管内各主線の列車動搖甚しいので試験研究の結果軌道に原因あること判明した譯で即ち各支線の軌道は丙線卅キロ奥羽本線は乙線を使用してゐるので目下東北本線に使用されてゐる卅七キロの軌道敷設方を本省に申請したところ今回取替の調査を命じて來たのである

銀行利用が増加し

平局の郵便貯金減る

平郵便局で取扱つた郵便貯金の現在高は受入が一萬四千八百九十口、金額十九萬六千六百五十二圓、抽出は三千三百五十三口、金額二十萬四千九百八十四圓二十三錢で昨年同期の受入一萬千八百五十一口、二十萬六千七百四十四圓、抽出は三千七百九十六口、廿四萬九千六百六十六圓二十六錢に比較すると受入は一萬

金肥施用講演

神谷農事試験分場は來月十日午前九時から農事特別傳習會を開き郡山本場の内山技師が金肥の購入と施用法に就いて講演する

青年團の 盡瘁感謝

前正副團長に

平町青年團は多年團の向上隆盛に盡瘁し確固なる基礎を築いた前正副團長柴田徳一、多田井笑次郎(以上團長)後藤桂仙、金成泉一郎、鈴木武雄(以上副團長)の五氏に記念品を添へて感謝状を贈ることに總會で決議近く贈呈式を舉行する

火力乾燥の柿を 正月用に東京へ

今後の成績に徴して 出荷組合を組織

神谷農事試験場が昭和八年以來研究中の柿の火力乾燥は昨年磐崎村大字藤原龍政勝氏方で矢ヶ崎技手指導のもとに試みた結果成績が頗るよいので本年は部落内五六名がいづれも火力乾燥を設備し東京方面へ正月用乾柿として一萬餘箱を移出する計劃であるが將來は共同出荷組合を組織して石城柿の大移出を圖ると

シネマ週報
◇世界館 田中絹代 高田
◇平館 澤田清 鈴木京子主演『無宿旅合羽』松本秀太郎 黒田記代主演『魂を投げろ』松山宗三郎 近衛重四郎主演『恩讐やぐさ節』

△配達人 卅才 尋二修	△事務員 廿才迄 月給十圓
△自動車助手 廿一 尋卒	△女中 廿才迄 月給五圓
△女中 卅五才 高卒	△女中 廿才前後 月給六圓
△旅館番頭 卅四才 高卒	△農夫 六十才迄 日給五十錢
△料理人 四十四才 高卒	△職を求むる方
△鐵筋工 卅一歳 尋卒	△鐵工 廿一歳 尋卒

平町初の 紙型及び鉛版装置成る

本社は平町に會つて無かつた紙型及び鉛版のステロ装置を設備しました、是れは五十、一萬と纏つた大量の印刷物を安價に仕上げる設備であります、今は總べての物の「値上り時代」でありまして印刷物の如きも諸材料や用紙類が高騰して居りますが、此の設備を利用する事に依り反つて 從來の料金よりも安く仕上げる事が出来ます、夫れに一度御注文の物は永久に版を貯藏して置きますから御入用の際にはインクでもすぐ間に合せて、本社が平町の印刷界に此の劃期的の新設備を構りました事は、御顧客様への奉仕を全からしめる爲めであり、是非貴方の印刷費御節約の爲め御用命を願ひ上げます。 本社は此の「常磐毎日新聞」に使用して居ります活字以外に、御名刺や受領証其他莊重味を加ふる印刷には宋朝活字、書籍や雑誌にはポイント活字、目立たせる爲めのゴチック活字等豊富に取揃へ、印刷物の体裁等總べて懇切に御相談に應じます。 平町長橋町 電話六三〇番 常磐毎日印刷株式會社

目白女子大出の 女白浪悪の行脚

先づ職業紹介所に出現して

並べ立てた嘘萬八

女子大出のインテリ女性が平町から福島市迄の貸切自動車料金の籠抜け逃走をやり縣下各地で詐欺窃盗の悪の行脚を續け追はれてゐる流轉白浪物語——去月十九日平職業紹介所の受付に求職を願ひ出た自稱茨城縣那珂郡靜村生れ當時平驛前旅館水戸屋こと宮崎方に止宿中の寺門キミ(二)は其後も二回許り同紹介所に現れたが適業なくその後姿を見せなかつた處去月廿五日平町驛前野崎自動車部方に來たり川島靜代と稱して十五圓の約束で福島市縣廳まで貸切で行つたが縣廳前で廳内に兄があるから料金を借りてくるとして廳内に這入り姿をくまらした廿七日前記自動車部の主人が出福した時女が云つた言葉尻を手懸りに廳内某課勤務の後藤氏に面接した處そんな妹は無いと云ふので始めて詐欺にかつたことに氣付いて其筋に届いた爲め捜査となつたもので其の後福島で詐欺窃盗を働きお尋ね者となつた者で平職業紹介所に求職に來た當時を聽いて見ると大正十四年磐女卒、同十四年から昭和二年まで茨

城縣那珂郡木崎小學校に奉職その後苦學して昭和二年女子大に入り四年卒業後、四年十月から五年三月まで同縣上野小學校昭和四年八月八月まで相馬郡駒ヶ嶺小學校に奉職、茨城太田實踐女學校に轉職事情あつて辭職、豐間村薄磯猪狩英明方に嫁いだ

平町除隊兵の平驛到着時間左記の如し
△十一月廿日午後四時四十分、大工町丹野勝榮君
△十二月一日午後二時五十分、紺屋町松田一君、南町本間七五三吉君
△同日午後三時十七分長橋町福島富士夫君

按摩さんの 一家飢に泣く

附近の同情に繼ぐ露命

來月上旬全国的に催される同情週間に際して平町は目下熟慮中であるが年の瀬を控へて飢と寒さに泣く貧しい人達の救済は焦眉の急を要し過日も
仲間町按摩業鈴木四郎假名の一家三名は不況のため殆んど収入なく四日三晩も飲まず喰はずで過ごしてゐたのを附近の人達の知る處となりその同情

除隊兵の 平着時間

寒い街を歩た男に
牛肉の匂ひが誘惑

六月米國に開催された萬國議員會議に出席し其の後歐米各地を視察旅行中であつたが本廿八日横濱入港の郵船龍田丸で五ヶ月振りに元氣よく歸朝した

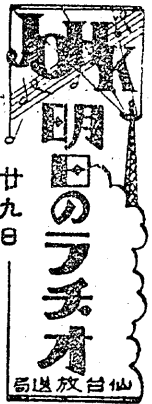
適齡迫る 甥の搜索願

埼玉縣南埼玉郡菫蒲町大字新堀大塚幸作さんは日本平署へ甥の義雄が來年徴兵検査ですから探して下さいと願ひ出たが

發生以來稀有の獵奇殺人事件として世人を矚目させた三阪村區長殺は不眠不休の平署必死の活動も効なく去月五日の事件突發より五十餘日を経た今日留置中の白石鶴治(三)阿部長門(三)阿部清(七)の三名は依然頑強に不認し續けて去る廿四日夜、

愈々迷宮入り?
物的證據擧らず
容疑者釋放

佐藤代議士
けふ歸朝す



明日のラジオ
今晩晴れたり曇つたり明日は北西の風晴曇半す

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 名作物語「黒馬物語」三
- 東京放送童話研究会
- 後六、二〇 御陵巡り「神代」三
- 文學博士宮地直一
- 後七、三〇 京城より講演「日本の武士道と朝鮮の畧武徳殿で劍柔、弓道の武徳大會を催す由

明日の部

- 後七、〇〇 現代語講座 保科孝一
- 前七、三〇 朝の修養「親鸞聖人の生涯」禿氏祐祥
- 前八、〇〇 婦人思想講座「政治と社會」藤田進一郎
- 後八、〇〇 映畫劇「曉の麗人」高田稔他
- 後二、〇〇 家庭講座「聴力と兒童教育」岡田和一郎
- 後二、四〇 小學生 尋六

畫家の妻

説諭願提出
消印をたよりに
栃木縣宇都宮市生れ當時茨城縣那珂郡隆郷村大字小田野畫家泰山こと佐藤明治(三)は去る八月十日家出行方不明となつたが本月廿三日附で平町の消印ある手紙が來たから探し出して歸宅の説諭をして欲しいと妻のたかさから平署へ

愈々迷宮入り? 物的證據擧らず 容疑者釋放

舉らず爲に一先づ三名を昨廿七日夜に入つて釋放したが尚本廿八日も容疑者として去る十四日檢査留置した佐藤義重(三)その他を釋放今後は新方針を樹立して局面の打開を圖るべく署員は悲壯な決意を見せてゐるが此處に至つてさしも地方民を驚愕させた本事件も愈々迷宮入りの形となつた



明治太平記

(作) 寺島狂史
(編) 藤田上野

第二百八十六回

生者死者 (二)

銀座裏のいろは長屋
この長屋のうちに、場所が場所だけに、粹な稼業の女の住居も多い。界限の藝妓も居れば銀座、あるひは敷寄屋河岸の宵闇に咲く花、黄八丈に黒襦子を空どけさうにしめた、辻君の隠れ家もあり、たいこもちや男妾や、守田座の下つ端役者も居るといつた。妙に艶めいた、つまりいろはのいろの字の長屋たつた。

その一軒に、例の天竺浪人安藏の情婦お銀も、隠れ家をつくつてゐた。
お銀は、藝者だと、天竺はいつたが、藝者でも藝者といつた、いはゞ不見轉の方なのだらう。
このお銀の家の、奥の一室にかくまつて、長い間病の床に就てゐるのがらしやめんおとわだつた。
すでに、ホテル館の二階に居たときから、生きるのどみを失つてゐたが、いや新島原跡のあき家へ運ばれた時はもう、虫の息だ、おとわも、このいろは長屋

に引取られ、お銀の手あつて、今日まで生きながらへて来たのだつた。
實際、お銀は親身も及ばぬ介抱で、稼業の不見轉をよそにして、一心におとわのために盡してゐるのには、なつて来た。いろは長屋へころがり込んだ當座にくらべて、このころのおとわの衰弱は、この激變はあまりにひどかつた。
それも、この數日前から容態が一層悪化し、街のドクトル先生は、首をかき上げること三再四、いまはまつたへ絶望の域にまでいたつた。
今日は、ことにおとわの容態は險悪だつた。
仰臥してゐるおとわの顔は、白蟻のやうに美しく、その瞳は星のやうに輝いて今日明日に死んでゆく人となつて来た。



おとわは、そろ／＼お銀に別れの言葉を述べはじめた。
「まア、おまへさん水臭いなんですの……」
お銀は、そう打ち消すやうに云ふが、おとわの死の近づいて来たことが、彼女にも感じられた。
「いゝえ、あたし、うれしいのよ。うれしくてこの通り……」
仰臥したまへ、合掌した「おまへさん」
その手を執つて、泥棒のいろだが、お銀ははや涙ぐんでしまふ。
「ね、ねえさん」

天竺のためでも、大志賀に對する義理からでもなく女同志の眞情からだつた。藝業稼業の浮沈みに身を投げて、浮き世のすいも甘いも充分に味ひ盡した女のひとりでにじみ出る情だつた。だが、お銀の手あつて、看護もやがてその甲斐がなくなつた。

はおもはれぬくらゐ、身もころも澄み切つてみえたが、それはおとわ自身、死を覺悟してゐるために、心境はいよ／＼澄め切るのだつた。
「ねえさん、ほんとうに長い間ご厄介なつてましたのねえ」

「え」
「あたし、もう、死んでいきます」
「まア、何をいふのさ。そんな氣の弱いことどうし

季節料理

よせなべ

30銭

その他……

かきなべ……三〇	煮込みなべ……三五
はもなべ……同	牛なべ……三五
いかなべ……同	豚なべ……同
ねぎなべ……同	鳥なべ……同
あんこなべ……同	あび天どん……三五
ちりなべ……三〇	あなごりなべ……三〇
たらちりなべ……同	かきふらい……二〇
酢のもの……二〇	あんども酢……二〇

等々始めました何卒御試食下さい。

平二警察署裏通り

魚清食堂

電話六三三三

御祝儀、御法事の仕出し
廉價に御引受け致します

冬の通學服賣出し

中學生用 六号 四四〇〇
國防色 七号 四四二〇

黒小倉服 A六号 三三〇〇ヨリ
特A六号 三三八〇ヨリ

別注文 國防色 五五〇〇均一
特A黒小倉 六四二〇均一

平 店服洋やかぶ
3322

開院

五十嵐婦産科醫院

平町新川町一二
醫學博士 五十嵐雄二
電話三七〇番

(入院應需)

夜間

胃腸病科 専門

内科 胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科

松村 胃腸性病醫院
(番七〇一町南町平)